

西尾市事務評価シート

事務No.	49-002	事務内容	議会・部会・委員会				
総合計画施策コード	---		事務開始年度	不明		担当課名	文化振興課
予算科目	10款	05項	05目	大事業	01		
事務事業名 (中事業名)	人件費 (一般職員 (1 2 人))						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	事業の施行・報告、情報提供
事務の対象 (誰(何)のために)	議会
事務の概要 (具体的に何を)	議案書、答弁書、報告書等の作成

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	0円	0円	0円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	707,298円	710,461円	718,991円	
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	707,298円	710,461円	
	その他()	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.45%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	なし			

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	

●事業の終期

事務No. 49-002

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	行政の事務遂行上必要なため		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	4		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	1	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	1		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	1		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント	必要不可欠な事務である。					
事務の方向性	(評価)	今後も、ほぼ現行どおり進める。				
	(理由)	必要不可欠な事務であり、省略できない。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	不可					
事務全体の課題	事務の性格上至急かつ正確性を要すこと。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	近隣においても同様に必要不可欠な事務であり、実施している。
---------------	-------------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	なし
--------	----

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---------------------------

西尾市事務評価シート

事務No.	49-037	事務内容	文化協会 運営				
総合計画施策コード	341		事務開始年度	不明		担当課名	文化振興課
予算科目	10款	05項	05目	大事業	01		
事務事業名 (中事業名)	人件費 (一般職員 (1 2 人))						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市民の文化活動活性化と市の文化発展を図る。
事務の対象 (誰(何)のために)	西尾文化協会、一色地域文化協会、吉良地域文化協会、幡豆地域文化協会
事務の概要 (具体的に何を)	4文化協会に対しての団体の育成と支援

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費 ①	0円	0円	0円	
人 工	0.1人	0.1人	0.1人	
人 件 費 ②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	707,298円	710,461円	718,991円	
総 財 源 内 訳 ③ の	使用料・手数料	0円	0円	
	国からの支出金	0円	0円	
	県からの支出金	0円	0円	
	市費	0円	0円	
	その他()	0円	0円	
H29 総事務費③の対前年度差額	3,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.45%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要		金 額

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	文化協会の会員数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		1,936	人	1,886	人	1,791	人
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		365円		377円		401円	

●事業の終期

事務No. 49-037

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成33年度
事務の終了時期が未定の場合の理由	4文化協会の合併にむけての話合いが難航しているため、補助金の見直し等を含めての検討。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価	評価項目	評価
	評価		評価
妥当性	2	市が実施することが適当であるか	3
	2	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3
	2	課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3
有効性	3	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3
	3	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3
	3	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3
評価の総合的なコメント	見直しをかけていきたい。		
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。	
	(理由)	合併を視野に今後の団体活動の方針を含めて自主的な活動をしていけるようにしたい。	
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし。		
事務全体の課題	4文化協会を合併し、効率的に運営を行う。		

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	近隣市においても同類事務を実施。
---------------	------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし。
-----------------	-------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	特になし。
--------	-------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	4文化協会の合併を検討するなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	49-038	事務内容	文化協会 補助			
総合計画施策コード	341	事務開始年度	昭和62年		担当課名	文化振興課
予算科目	10款 05項 05目	大事業	04	中事業		
事務事業名 (中事業名)	文化協会補助事業 ()					

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	西尾市内の文化協会の育成及び活動費に対する補助を行い、市民の文化活動活性化と西尾市の文化発展を図る。
事務の対象 (誰(何)のために)	西尾市内文化協会（西尾文化協会、西尾市一色地域文化協会、西尾市吉良地域文化協会、西尾市幡豆地域文化協会）
事務の概要 (具体的に何を)	市内に拠点を置く4文化協会に対し、団体の育成及び活動に対して補助を行う。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	3,200,000円	4,500,000円	3,041,000円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	3,907,298円	5,210,461円	3,759,991円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	3,200,000円	4,500,000円	3,041,000円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	1,303,163円	H29 総事務費③の対前年度比率	33.35%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	県文連芸能大会(西三河)の開催市担当(持ち回り)となったため、その開催費補助分を増加したため。			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	補助金	4文化協会補助 均等割40万+各会員人数割	3,200,000円	
	補助金	県文連芸能大会補助	1,300,000円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	事業の実施回数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		43 回		47 回		46 回	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	事業の実施回数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		43 回		47 回		46 回	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度	平成29年度		平成30年度			
	90,867円	110,861円		81,739円			

●事業の終期

事務No. 49-038

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	今後、数年以内
事務の終了時期が未定の場合の理由	地域文化の振興を担う団体であり、継続して補助を行わなければ西尾市の文化の衰退のおそれがあるため。ただし、各文化協会も合併など、今後の団体活動の方針も含めての話し合いをしている最中であり、今後は補助金についても見直していく予定。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	おおむね適正に実施している。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	文化協会として、合併を視野に今後の団体活動の方針も含めての話し合いをしている最中であり、今後はなるべく自主的な活動を行えるよう方向を検討している。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	事業の性質上、民間委託は難しい。					
事務全体の課題	文化の振興という目に見えない価値に関する補助に、枠に当てはめた事務評価を行うこと自体が難しい。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	近隣市においても、同様に地域の文化協会へは市による活動費などの補助を行っている。
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特に無し
-----------------	------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	平成30年度から、前年度の約5%削減しての補助となる予定。
--------	-------------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	4文化協会の合併を検討するなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	49-039	事務内容	西尾市美術展等運営委託				
総合計画施策コード	341	事務開始年度	不明		担当課名	文化振興課	
予算科目	10款	05項	05目	大事業	05	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	西尾市美術展等開催事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	地域の文化向上
事務の対象 (誰(何)のために)	市民
事務の概要 (具体的に何を)	西尾市美術展等運営を文化協会に委託する事務を行う。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	2,485,000円	2,443,000円	2,321,000円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	3,192,298円	3,153,461円	3,039,991円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	0円	0円	0円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-38,837円	H29 総事務費③の対前年度比率	-1.22%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	美術展等運営業務委託	2,443,000円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	

●事業の終期

事務No. 49-039

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成33年度
事務の終了時期が未定の場合の理由	文化協会の合併を考えており、事務自体も見直したいが事業自体は継続を考えている。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	3	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	地域の文化向上は大切であるが、見直しを図りたい。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	文化協会の合併を進め事業を統合する。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	文化協会に全面委託していく。					
事務全体の課題	4つの文化協会を合併させるのが当面の課題である。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	近隣市においても同類事務を実施している。
---------------	----------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	西尾市美術展において近隣に比べ賞金が少ないといわれるが、委託料を増やすのは難しい。
-----------------	---

●改善案【ACTION】

今後の改善策	特になし
--------	------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	4文化協会の合併を検討するなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	49-040	事務内容	文化協会合同美術展運営				
総合計画施策コード	341	事務開始年度	平成26年		担当課名	文化振興課	
予算科目	10款	05項	05目	大事業	05	中事業	00
事務事業名 (中事業名)	西尾市美術展等開催事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	文化活動活性化と文化発展を図る。
事務の対象 (誰(何)のために)	西尾文化協会、一色地域文化協会、吉良地域文化協会、幡豆文化協会
事務の概要 (具体的に何を)	4文化協会合同で美術展を開催することにより、文化活動を活性化する。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	32,400円	30,000円	35,000円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	739,698円	740,461円	753,991円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	0円	0円	0円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	763円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.10%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	印刷製本費	看板作成	30,000円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	合同美術展集客人数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		244人		251人		300人	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
		3,032円		2,950円		2,513円	

●事業の終期

事務No. 49-040

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	平成33年度
事務の終了時期が未定の場合の理由	4文化協会の合併に向けての話合いが難航している。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	2	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	2		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント		4文化協会が合同で美術展を開催することにより、活動を活性化させるが、市が主体で行うのではなく、文化協会が自発的に行うことが望ましい。				
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	文化協会合併が達成できれば終了する。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし。					
事務全体の課題	4文化協会の合併に向け、交流のなかった4文化協会が合同で美術展を開催することにより、合併を進めたい。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	なし。
---------------	-----

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし。
-----------------	-----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	4文化協会の合併を進めて、合併時には終了する。
--------	-------------------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	4文化協会の合併を検討するなど、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	49-047	事務内容	三河万歳後援会				
総合計画施策コード	344		事務開始年度	不明		担当課名	文化振興課
予算科目	10款	05項	05目	大事業	06		
事務事業名 (中事業名)	文化財保護管理事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	文化財の保存継承のため
事務の対象 (誰(何)のために)	三河万歳の活動を行っている人を含む市民
事務の概要 (具体的に何を)	国指定重要無形民俗文化財三河万歳の保存伝承活動への支援を図る

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	0円	0円	0円
人工	0.5人	0.5人	0.5人
人件費②	3,536,492円	3,552,306円	3,594,954円
総事務費③(①+②)	3,536,492円	3,552,306円	3,594,954円
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	3,536,493円	3,552,306円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	15,814円	H29 総事務費③の対前年度比率	0.45%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	保存伝承に協力いただける会員数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		499	人	469	人	480	人
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	万歳の公演の回数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		10	回	10	回	7	回
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		7,087円		7,574円		7,489円	

●事業の終期

事務No. 49-047

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由	三河万歳の保存伝承活動は継続されるため	

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	2	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	3	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	2		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	2		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	市が主体になるより少しでも市民の側に主体を求めることができるようにする					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	地元との協力体制を進めていくことができるよう努める				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	現在も市民協働で行っており今後もその方向で進める					
事務全体の課題	三河万歳保存会（西野町小学校）の活動が停滞気味でありそれを盛り上げていくための具体的方策を検討していく必要があり、それができていない					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	文化財保護事務所管課により実施
---------------	-----------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	49-048	事務内容	遺跡詳細分布調査				
総合計画施策コード	344	事務開始年度	平成25年度		担当課名	文化振興課	
予算科目	10款 05項 05目	大事業	07	中事業	00		
事務事業名 (中事業名)	文化財調査事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	合併後の西尾市域の埋蔵文化財包蔵地を把握し、土木工事等への対応をスムーズにしていく
事務の対象 (誰(何)のために)	市民、西尾市内で土木工事を行う予定のある人
事務の概要 (具体的に何を)	西尾市域のどこに遺跡があるのかを示し、工事などへのスムーズな対応を図るための遺跡詳細分布調査を行う。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費①	5,916,681円	4,695,000円	536,700円
人工	0.1人	0.1人	0.1人
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円
総事務費③(①+②)	6,623,979円	5,405,461円	1,255,691円
総財源内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	2,958,000円	2,392,000円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	2,958,681円	3,104,007円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-1,218,518円	H29 総事務費③の対前年度比率	-18.40%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額
	需用費	遺跡詳細分布調査報告書を刊行	1,778,760円
	委託料	遺跡詳細分布調査業務を委託する	2,916,000円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		

●事業の終期

事務No. 49-048

事務の終了時期	H30	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価	評価項目	評価
	評価		評価
妥当性	4	市が実施することが適当であるか	3
	4	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3
	4	課題, 目標, 成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	3
有効性	4	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3
	4	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4
	4	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3
評価の総合的なコメント	遺跡詳細分布調査について報告書を刊行し、一般の利用に供することが可能になった		
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。	
	(理由)	事業が30年度をもっていったん終了し、修正などが残るのみのため	
民間委託又は市民協働拡大の方向性	現状維持		
事務全体の課題	31年度以降に運用開始		

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	終了する事務については、一旦事務の廃止を検討してください。
----------	-------------------------------

西尾市事務評価シート

事務No.	49-065	事務内容	幡豆歴史民俗資料館 運営				
総合計画施策コード	---		事務開始年度	不明		担当課名	文化振興課
予算科目	10款	05項	06目	大事業	06		
事務事業名 (中事業名)	幡豆歴史民俗資料館管理運営事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市民の教養、学術及び文化の発展に寄与する
事務の対象 (誰(何)のために)	市民
事務の概要 (具体的に何を)	幡豆歴史民俗資料館の運営を行う

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
事務費 ①	2,590,756円	2,231,000円	0円
人 工	0.1人	0.1人	0.1人
人 件 費 ②	707,298円	710,461円	718,991円
総事務費③(①+②)	3,298,054円	2,941,461円	718,991円
総 財 源 内 訳 ③ の	使用料・手数料	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円
	市費	0円	0円
	その他()	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-356,593円	H29 総事務費③の対前年度比率	-10.81%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概 要	金 額

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		平成28年度		平成29年度		平成30年度	

●事業の終期

事務No. 49-065

事務の終了時期	平成30年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	妥当性	有効性		効率性	公平性	
妥当性	市が実施することが適当であるか		3	効率性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか		3		事務時間は適切なものになっているか	4
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか		4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3
有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか		3	公平性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	4
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか		3		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか		3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3
評価の総合的なコメント	平成30年3月31日で閉館したため、今後は文化財の収蔵庫として使用する。					
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。				
	(理由)	公共施設再配置計画により資料館機能は停止し、収蔵庫として機能する。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	なし					
事務全体の課題	施設の老朽化					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	類似なし
---------------	------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	なし
-----------------	----

●改善案【ACTION】

今後の改善策	なし
--------	----

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	幡豆歴史民俗資料館の廃止後に収蔵庫として利用することは、行政財産の有効活用として評価できます。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	49-066	事務内容	幡豆歴史民俗資料館 施設管理				
総合計画施策コード	342		事務開始年度	不明		担当課名	文化振興課
予算科目	10款	05項	06目	大事業	06		
事務事業名 (中事業名)	幡豆歴史民俗資料館管理運営事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	市民の教養、学術及び文化の発展に寄与するため
事務の対象 (誰(何)のために)	市民
事務の概要 (具体的に何を)	幡豆歴史民俗資料館の施設を管理する

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	1,324,372円	1,600,000円	658,000円	
人工	0.1人	0.1人	0.1人	
人件費②	707,298円	710,461円	718,991円	
総事務費③(①+②)	2,031,670円	2,310,461円	1,376,991円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	4,622,427円	2,310,461円	1,376,991円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	278,791円	H29 総事務費③の対前年度比率	13.72%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	閉館に伴う賃金の減			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	賃金	幡豆歴史民俗資料館施設管理のための臨時職員	2,667,120円	
	光熱水費	幡豆歴史民俗資料館施設管理のための電気料など	707,972円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	入館者数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		795	人	925	人	0	人
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		

●事業の終期

事務No. 49-066

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由	文化財の収納施設として使用していくため	

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性	市が実施することが適切であるか	3	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	4	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	3	
有効性	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	3		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	4	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	

評価の総合的なコメント	平成30年3月31日で閉館したため、今後は文化財の収蔵庫として使用する。	
事務の方向性	(評価)	今後は事務を廃止する。
	(理由)	公共施設再配置計画により資料館機能は停止し、収蔵庫として機能させていく
民間委託又は市民協働拡大の方向性	現状維持	
事務全体の課題	施設の老朽化	

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	類似なし
---------------	------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	幡豆歴史民俗資料館の廃止後に収蔵庫として利用することは、行政財産の有効活用として評価できます。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	49-068	事務内容	文化財収納施設 借地契約				
総合計画施策コード	342		事務開始年度	不明		担当課名	文化振興課
予算科目	10款	05項	06目	大事業	06		
事務事業名 (中事業名)	幡豆歴史民俗資料館管理運営事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	文化財収納施設の用地として使用するため。
事務の対象 (誰(何)のために)	文化財の収納保管のため。
事務の概要 (具体的に何を)	文化財収納施設(旧白ばら)の用地として使用するため、土地賃貸借契約を締結し、賃料を支払う。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	1,071,000円	1,071,000円	1,071,000円	
人工	0.0人	0.0人	0.0人	
人件費②	0円	0円	0円	
総事務費③(①+②)	1,071,000円	1,071,000円	1,071,000円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	0円	0円	0円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	0円		H29 総事務費③の対前年度比率	0.00%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	賃料	敷地2,902㎡		1,070,953円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)					
	具体的な指標	土地の賃貸借契約を締結し、賃料を支払う				
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)
		1回		1回		1回
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)					
	具体的な指標	土地の賃貸借契約を締結し、賃料を支払う				
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)
		1回		1回		1回
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度	平成29年度		平成30年度		
	1,071,000円	1,071,000円		1,071,000円		

●事業の終期

事務No. 49-068

事務の終了時期	未定	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	未定
事務の終了時期が未定の場合の理由	今後、長期間にわたり文化財を収納する必要があるため		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	2	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	4		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	2	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	3	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めているか、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	3		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	3	
評価の総合的なコメント	概ね適正に行っている					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	今後も必要に応じて、継続する必要がある				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	契約締結事務のため、予定なし					
事務全体の課題	終了時期の見通しがたたない。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	特になし
---------------	------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	特になし
-----------------	------

●改善案【ACTION】

今後の改善策	今のところ、特になし
--------	------------

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	幡豆歴史民俗資料館の廃止後に収蔵庫として利用することは、行政財産の有効活用として評価できます。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	49-080	事務内容	岩瀬文庫企画展示				
総合計画施策コード	343		事務開始年度	平成15年度		担当課名	文化振興課
予算科目	10款	05項	09目	大事業	01		
事務事業名 (中事業名)	岩瀬文庫運営事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	古典籍の博物館・岩瀬文庫としての企画展示を開催することを目的とする。
事務の対象 (誰(何)のために)	老若男女、市内外、国内外を問わず、すべての人々を対象とする。
事務の概要 (具体的に何を)	展示プロットの企画、出陳資料の調査及び選定、展示図録・解説キャプション・広報物等のデザイン及び原稿執筆、写真撮影、音声ガイドの原稿執筆・音声録音、資料の展示(企画展示室の設営)、関連講座・催しなどの企画及び開催、展示解説、会期終了後の撤収、など

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	1,523,798円	1,937,000円	2,146,000円	
人工	0.3人	0.3人	0.3人	
人件費②	2,121,896円	2,131,384円	2,156,973円	
総事務費③(①+②)	3,645,694円	4,068,384円	4,302,973円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	36,456,940円	4,068,384円	43,029,730円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	422,690円	H29 総事務費③の対前年度比率	11.59%	
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)	平成28年は長年岩瀬文庫に勤務した学芸員が異動したため展示規模を縮小していたが、29年は従来に戻したため。			
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要	金額	
	委託料	展示ディスプレイ・解説キャプション等作成	1,937,000円	

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	企画展示開催回数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		5回		5回		5回	
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	観覧者数					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		27,848人		28,421人		30,000人	
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度	平成29年度		平成30年度			
	729,139円	813,677円		860,595円			

●事業の終期

事務No. 49-080

事務の終了時期	なし	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期	なし
事務の終了時期が未定の場合の理由	博物館法に依拠した登録博物館である以上、開館している限りは展示を続けてゆく必要があるため。		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	スコア		内容	スコア	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	3		事務時間は適切なものになっているか	2	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント	岩瀬文庫の特徴の一つである、バラエティに富んだ蔵書を様々な切り口から紹介する展示を、間断なく次々と開催してきた。展示図録は完売しているものが多く、また関連講座・催しは概ね満席であることから、顧客満足度も高いと自負している。					
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	従事する時間が多大であり、担当職員の負担が大きいため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	重要文化財指定の史料をはじめ貴重な文化財を取り扱うので、民間委託や市民協働にはなじまない。					
事務全体の課題	年々業務が増える中、職員数も増えず、クオリティを落とさずに続けるには回数を減らすしかない。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	H29年度の近隣市博物館企画展開催回数 碧南市…6回、岡崎市…6回、安城市…5回
---------------	--

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---

西尾市事務評価シート

事務No.	49-085	事務内容	岩瀬文庫新目録作成悉皆調査				
総合計画施策コード	343		事務開始年度	平成12年度		担当課名	文化振興課
予算科目	10款	05項	09目	大事業	01		
事務事業名 (中事業名)	岩瀬文庫運営事業 ()						

事務の概要

●事務の内容【PLAN】

事務の目的 (どうするために)	西尾市岩瀬文庫が“平成のふみくら”として機能するために必要不可欠な、書誌学的見地に基づいた新しい蔵書目録＝蔵書管理・検索用データベースの作成を目的とする。
事務の対象 (誰(何)のために)	岩瀬文庫を利用する閲覧者はもとより、調べ物や趣味、調査などで古典籍を検索する子どもから大人、研究者や一般を問わず、すべての人々を対象とする。
事務の概要 (具体的に何を)	(1) 岩瀬文庫の8万点を超える古典籍を函番号順に書庫より出納し、書誌学的調査を行い、1点につき1枚ずつ調査カードに記録する。(2) 調査カードの記載事項をパソコンに入力し、データベースを作成する。(3) データベースのメタデータを資料検索システム(TRC-ADEAC)に搭載し、西尾市岩瀬文庫ホームページ上でWEB公開する。

●事務費の内訳【D0】

項目	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)	
事務費①	3,000,000円	2,821,000円	2,510,000円	
人工	0.2人	0.2人	0.1人	
人件費②	1,414,597円	1,420,922円	718,991円	
総事務費③(①+②)	4,414,597円	4,241,922円	3,228,991円	
総財源内訳③の	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	44,145,970円	42,419,220円	3,228,991円
	その他()	0円	0円	0円
H29 総事務費③の対前年度差額	-172,675円		H29 総事務費③の対前年度比率	-3.91%
事務費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事務費の中の 主な支出項目 (H29決算額)	項目	概要		金額
	報償費	調査員への謝礼		2,118,796円

●指標の設定【D0】

(目標値) 活動指標	○事務全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	調査完了資料点数					
	指標の推移④	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
		1,695	点	963	点	800	点
(目標値) 成果指標	○事務で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)						
	具体的な指標	なし					
	指標の推移	平成28年度(決算)	単位	平成29年度(決算)	単位	平成30年度(予算)	単位
活動一単位当たりの コスト(③÷④)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	2,604円		4,405円		4,036円		

●事業の終期

事務No. 49-085

事務の終了時期	平成35年度	事務の終了時期が未定の場合、事務の抜本的な見直し時期
事務の終了時期が未定の場合の理由		

●個別評価【CHECK】 4:適正 3:概ね適正 2:やや問題がある 1:問題がある 0:該当なし

評価項目	評価項目		評価	評価項目		評価
	内容	評価		内容	評価	
妥当性 有効性	市が実施することが適当であるか	4	効 率 性	事務の目標に対して費用がかかりすぎているか	4	
	ニーズを把握し事務を見直して、社会情勢にあったものになっているか	4		事務時間は適切なものになっているか	3	
	課題、目標、成果がはっきりし事務内容が対外的に説明できるものになっているか	4		事務の費用、時間に対してその効果が広く及ぶものであるか	4	
	事務が予定どおり進捗し目標を達成できているか	4	公 平 性	受益者に偏りはないか、また、受益者負担の割合は適切か	3	
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	4		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	3	
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	4		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	4	
評価の総合的なコメント		惜しみなく調査成果を公表し、他に類を見ない詳細な書誌情報を掲載した当文庫のデータベースは、業界内で高い評価を受けている。また、研究者でない一般の利用者にも、わかりやすく探しやすいツールであると好評で、「古典籍の博物館」の敷居を低くする一役を担っている。				
事務の方向性	(評価)	今後は、内容を見直して事務を縮小又は統合する。				
	(理由)	未調査分の資料も残り少なくなり、特に調査に時間や人手のかかる卷子本や絵図・地図類の一群が終わったため。				
民間委託又は市民協働拡大の方向性	古典籍類を取り扱う技量を持ち、専門性を有した研究者らで組織した「岩瀬文庫資料調査会」に委託しているが、一般的な民間委託や市民協働では不可能。					
事務全体の課題	資料ごとに内容が異なるため調査に要する労力もまちまちで、単純に点数あたりでコストを割り出すことができず、また効率性を望めないこと。					

●近隣の状況【CHECK】

同類事務の近隣市の実施状況	近隣に所蔵資料の悉皆調査・公開をしている市町はない。
---------------	----------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	
-----------------	--

●改善案【ACTION】

今後の改善策	
--------	--

●企画政策課の評価

企画政策課の意見	限られた財源を最大限有効活用し、効率的で無駄のない事務の執行に努めていただきたい。
----------	---